月　日 名前　　／100点

【小4】国語 文章問題　物語文 3

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

鉄ぼうの前に立つと、ぼくはいつも足がすくむ。クラスでさかあがりができないのは、もうぼくだけになっていた。

放課後、だれもいない校庭で練習していると、同じクラスのけんたくんがやって来た。

「手つだおうか。」

ぼくは首をよこにふった。できないところを見られるのが、いやだったからだ。けれど、けんたくんは帰らなかった。少しはなれた所にすわって、ただ見ていた。

何回やっても、足はとちゅうで下がってしまう。手のひらは赤くなって、じんじんした。

「おなかを、鉄ぼうにくっつけるつもりでやってみて。ぼくもそれでできたんだ。」

けんたくんがぽつりと言った。ぼくはだまってうなずいて、もう一度鉄ぼうをにぎった。おなかを鉄ぼうにくっつける。そう思って、地面を強くけった。

くるりと、空が回った。

気がつくと、ぼくは鉄ぼうの上にいた。

「できた。」

声が出たのは、ぼくよりけんたくんのほうが先だった。けんたくんは、ぼくよりうれしそうな顔をして、手をたたいていた。

帰り道、ぼくは赤くなった手のひらを、何度も見た。いたいはずなのに、ちっともいやではなかった。あしたは、ぼくのほうから「いっしょに帰ろう」と言ってみようと思った。

（この問題のための書き下ろし）

問一　ぼくが、けんたくんに手つだってもらうのをことわったのはなぜですか。「～から」につづくように、本文から二十字までで書きぬきましょう。

問二　けんたくんが「ぼくもそれでできたんだ」と言ったことから分かることは何ですか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　けんたくんは、早く家に帰りたかったこと。
イ　けんたくんは、さかあがりを教える先生だったこと。
ウ　けんたくんも、前はさかあがりが苦手だったこと。

問三　「くるりと、空が回った」は、どんなことを表していますか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　急に天気が悪くなったこと。
イ　ぼくがさかあがりをして、体が回ったこと。
ウ　けんたくんが、鉄ぼうで回ってみせたこと。

問四　帰り道、「いたいはずなのに、ちっともいやではなかった」のはなぜですか。四十字までで書きましょう。